

地元小学生考案の返礼品に「第二弾」が登場！ 泉佐野市出身の人気陶芸家 番匠谷 浩平 氏の手により作品に！ ～市のふるさと納税を盛り上げる返礼品の提案を事業者とともに実現～

泉佐野市（市長：千代松 大耕）は、市立第三小学校（校長：泉谷 一）の5年生（現在は6年生）から提案のあった『泉佐野市のふるさと納税を盛り上げるためのオリジナル返礼品』のうち、「泉州物皿（せんしゅうもんざら）」を事業者の協力により、本市の新たな返礼品として市ふるさと納税特設サイト「さのちよく」にて掲載を開始しました。前回の「地酒の泉州タオル巻き」に続く第二弾となります。

泉佐野市出身で泉州焼きの人気陶芸家である番匠谷 浩平（ばんじょうや こうへい）氏（以下「番匠谷氏」という。）が、地元小学生の想いを伝え聞き、そのアイデアを実現するべく、特別に時間を取ってくださり試作を繰り返し、見事な作品に仕上げてくださいました。この作品は「地元小学生と泉州焼き人気陶芸家のコラボ！」として生産者さんや事業者さんを応援しながら地元をもっとアピールしたい想いで活動している、じもつと合同会社（代表：新治 雅子、以下「Jimott」という。）を通じて、本市ふるさと納税の返礼品として掲載させていただきます。



<泉佐野市の小学生が考案した「地元小学生と泉州焼き人気陶芸家のコラボ！」の概要>

小学生の想いは、地元泉佐野市の土にこだわった大阪泉州地域独自の焼き物「泉州焼き」として形になり、番匠谷氏の代名詞である泉州ブルーの釉薬により作品にまで昇華しました。番匠谷氏が作り出す「泉州ブルー」を使った陶器は、泉州の海や泉、空をイメージした美しい色合いで、全国の有名デパートでも納品までに3カ月以上お待ちいただくほど人気を博しております。このマグカップは、最後まで飲み切ると大阪弁の「おおきに」「ええやん」の言葉が現れるという地元小学生考案の仕掛けがあり、飲むたびに思わず「ほっこり笑顔」にさせてくれます。



- ▶返礼品：地元小学生と泉州焼き人気陶芸家のコラボ！泉州ブルー 各種
 - ▶返礼品名：マグカップ&ソーサーセット（ええやん） 寄附金額 2万8千円
 マグカップ&ソーサーセット（おおきに） 寄附金額 2万8千円
 マグカップ（ええやん&おおきに） 2個セット 寄附金額 3万円
 - ▶内 容：マグカップ「おおきに」「ええやん」直径約8～9cm×高さ約7～8cm
 ソーサー 縦約14cm×横約18cm×高さ約0.5cm
 - ▶受付サイト：さのちよ URL <https://x.gd/dX94s>
- ※今後、楽天、ふるさとチョイス、ふるなび、ANA等のポータルサイトへも掲載を進めます。

<誕生のきっかけ>

令和5年のふるさと納税制度のルール改正により、大人気の返礼品がだせない！という市最大のピンチを知った泉佐野市立第三小学校の5年生は、「自分たちに何かできることはないか」と自発的に考え、「総合的な学習の時間」の一環として『泉佐野市のふるさと納税を盛り上げるためのオリジナル返礼品』を考案し、令和5年12月18日に市長をはじめとする市の関係者へ提案を行いました。市は提案を現実のものとするべく事業者と協議し、提案内容に沿った試作品を開発し、令和6年3月19日に試作品の披露を行いました。その後も事業者と協議を重ね、この度返礼品として掲載する運びとなりました。



写真：市立第三小学校のオープンスペース 市からの発表が終了後の記念撮影（令和6年3月19日）

<千代松市長のコメント>

児童の皆さんが地域のことをおもって生み出した返礼品の第二弾を全国の方々へお届けできるようになりましたことは、関わっていただきました皆さまの多大なご協力の賜物と大変感謝しております。また、地元出身の陶芸家である番匠谷氏にもご賛同、ご協力いただいて素晴らしい返礼品ができました。この返礼品はこの試みに関わってくださった方々の想いのこもった特別なものとなります。多くの皆様にこの想いが届きますことを祈念しております。

<過去のプレスリリースのアーカイブのご案内>

- ・令和5年12月18日：市内の小学生が市長にふるさと納税返礼品を直接提案しました
<https://www.city.izumisano.lg.jp/material/files/group/19/PR20231218.pdf>
- ・令和6年3月19日 地元小学生のアイデアが、ふるさと納税の返礼品に！
<https://www.city.izumisano.lg.jp/material/files/group/19/PR20240319.pdf>
- ・令和6年5月7日 小学生のアイデアが、ふるさと納税の返礼品に登場！
<https://www.city.izumisano.lg.jp/material/files/group/19/PR20240507.pdf>

<『地元小学生と泉州焼き人気陶芸家のコラボ！』を実現いただいた提供事業者のご紹介>

▶陶芸家 番匠谷 浩平氏について

1972年大阪府泉佐野市に生まれる。地域に根差した焼物を生み出す、泉州焼の第一人者、陶芸家・番匠谷 武氏を父に持つ。もともモノづくりが好きだったことから、2005年に自身も32歳で陶芸作家を志し、父に師事。基礎から技術全般にわたり父子相伝で修行し、〈平窯〉の二代目を継承する。師匠である番匠谷 武氏が研究を重ねて開発した秘伝の釉薬も受け継ぎ、浩平氏の代名詞ともいえる「泉州ブルー」の作品が誕生。



泉州の文字が示す「泉」が湧きあがるような色鮮やかで美しいブルーは、泉州の海・空を表現した泉の色。また、泉州焼を大阪一の焼物として周知してもらいたいとの想いで、大阪といえば「水の都」ブルーのイメージも意識しているという。そんな独創的なセンスで一つひとつ手作りする番匠谷 浩平氏の作品は、2007年から有名デパートでの取り扱い販売を開始。2019年にはデパートで美術画廊個展を開催し、陶芸セミナー講師を務める。泉州の土を使い、泉州の窯で焼く、味わい深い魅力あふれる作品は、現在もデパートでしか展示販売されておらず、納品まで3ヶ月待ちの人気商品となっている。浩平氏の作品を求めて全国のデパートを巡る熱心なファンもいるほどです。

今後も「大阪の焼物《泉州焼》を作りたい」との想いを胸に、創作活動に励み、国内デパートから海外進出も視野に入れて活動していく。

・番匠谷 浩平氏の Facebook : <https://www.facebook.com/tairagigama/>



【サイト】

▶ Jimott 合同会社について

泉佐野市で活動する地域商社。社名「Jimott（じもっと）」は、地元（じもと）をもっとアピールしたいという思いから命名。地元の優れた人材、製品、サービスを発見し、広く発信することで地域貢献。事業内容は、商品・イベント企画運営や HP 作成・運営、事業者向けにふるさと納税のアドバイザーや代理出品サービス、観光・インバウンドの地域活性化事業などを展開。地域の声に耳を傾け、地域の魅力を全国に発信する、地方創生のリーディングカンパニーを目指している。



実績：泉佐野市「PROFESSIONAL」パンフレット企画製作、ふるさと納税ポイント決済サービス「さの Pay」加入店促進、泉佐野市紹介ポータルサイト「MOTT SANO」運営（月間 11,000PV、インスタフォロワー1755人 2024年6月現在）等

・Jimott の【もっとさの】はコチラ <https://mottsano.jimott.net/>



【サイト】

・Jimott の【返礼品】はコチラ <https://x.gd/blFXD>



【返礼品】

<泉佐野市立第三小学校について>

泉佐野市立第三小学校は、特認校※1 に指定されており、「進んで学ぶ子ども」「思いやりのある子ども」「がんばる子ども」の育成～あいさつをしよう・やくそくをまもろう・おもいやりをもとう～を教育目標とし、「ICTを活用した学習」、「たてわり班活動」、「緑豊かな学校」、「地域との交流」の特色ある活動を展開しています。とりわけ、「ICTを活用した学習」では、GIGA スクール構想により全国の小中学校に配備された学習用端末を活用して、これまで培ってきた ICT 教育の基盤を活かし、より進んだ Chromebook の活用に積極的に取り組んでいます。

【※1 特認校とは】・・・特色ある教育活動を展開している学校を特認校に指定し、その教育環境の中で子どもを学ばせたい、学びたいという保護者及び児童に対して、一定の条件を付して通学区域外からの通学を認めるものです。

<泉佐野市について>

大阪市と和歌山市のほぼ中間に位置し、美しい山河、緑あふれる恵まれた自然環境にあります。日本遺産にも認定された中世日根荘の風景が残る山間部の景観と、大阪湾に面する臨海部にある「りんくうタウン」や「関西国際空港」の近代的な風景が共存するまちでもあります。

平成 6 年に開港した関西国際空港によるインパクトを最大限に活用し、世界と日本を結ぶ玄関都市として、21 世紀にふさわしい国際都市をめざしてまちづくりに取り組んでいます。

本件に関する報道機関のお問い合わせ先

泉佐野市 成長戦略室 ふるさと創生課：塩見（しおみ）、中嶋（なかじま）、林（はやし）

TEL：072-463-1212(代表) FAX：050-3488-2033 E-mail：furusatotax@city-izumisano.com